

中学受験がわかる

- ▶ 数字で見る、中学受験をとりまく環境
- ▶ 入試までの流れ
- ▶ 倍率？ 偏差値？ 難易度を測る尺度
- ▶ 志望校の選び方
- ▶ 一都三県の入試について



1 中学受験を とりまく環境

まずは情報を
入手しよう

社会が大きく変化する中、子ども世代に求められる力も変化しています。受験はその最たるものです。「中学受験」とはどのようなものか、その疑問を解消することでお子さまにとって最良の進路選びをサポートできます。基本的な疑問から最新情報まで、まずはじっくり情報を集めましょう。

約 **68,000** 人が中学受験
を経験

私立・国立・公立中高一貫校を受験した1都3県の6年生の数です。その割合は23.6%。1都3県では、およそ4人に1人の6年生が中学受験に挑んだことになります。このうち公立中高一貫校の受験者数は、およそ16,000人です。小6児童数の減少が進む中でも、中学受験への志向は継続しています。

私立・国立校の
平均実質倍率は 約 **2.5** 倍

平均実質倍率とは、受験者総数を合格者総数で割ったものです。私立・国立校では学校ごとの違いはあるものの、平均すると2人に1人が合格を手に行っていることを表しています。一方、公立中高一貫校の平均実質倍率は5.3倍となっており、高いハードルであるといえます。

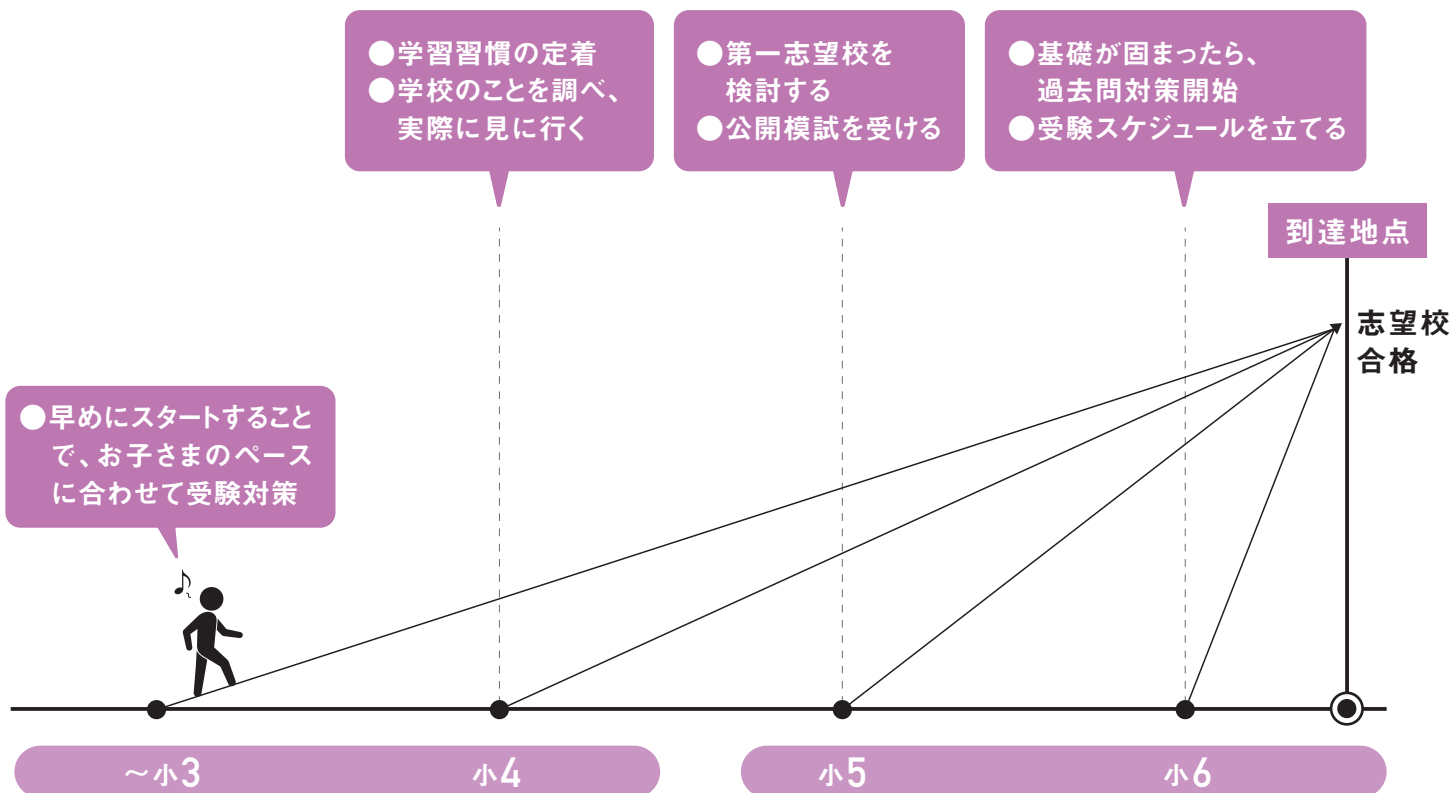
1人当たりの
出願校数 約 **5.48** 校

平均出願校数は減少傾向が続いています。Web出願の普及で堅実な出願、併願計画が可能になっています。近年の出願校数と受験校数の平均は、それぞれ5.48校、4.14校です。入試直前でも併願が可能になったため、出願校数と受験校数の差は徐々に縮まっています。

午後入試の
受験者数
(2月1日) 約 **28,600** 人

東京・神奈川の入試では、午前が続いて行われる午後入試が増えてきています。また、1月に行われる埼玉・千葉の入試でも午後入試が定着しつつあります。その受験者数は年々増加しており、受験者総数増加の一因となっています。

2 入試までの流れ



小3 受験への切り替えは早く、少しずつ

受験を目指して小3までに勉強を始める方が多いです。開始が早ければ、習い事や読書、睡眠、家族の時間を確保して、無理のないペースで学習を進めることができます。もちろんもっと後から受験対策を始めても、あせったり無理をしたりする必要はありませんが、その分しっかりと計画を立てる必要があります。適切な志望校をお子さまと考え、挑戦をサポートしてあげることが大切です。

小4 学習習慣を身につける

学習習慣を定着させたい時期です。宿題の取り組み方やノートの書き方など、正しい学習の仕方を身につけましょう。この時期はやる気を引き出し、勉強が楽しいと思えるように導くことがポイントです。テストの点数だけでなく、新しくできるようになったことを褒めてあげましょう。無理に習い事を整理する必要はありません。

小5 志望校を決めてモチベーションアップ

学習のモチベーションを上げるには学校を見学したり、先輩たちの様子を見たりすることがいちばんです。また保護者さまのサポートも大切です。学校や塾が主催する説明会や、複数の学校が集まる私学フェアに参加し、学校の先生の声や授業の様子を生で体験するのもよいでしょう。お子さまが自分で「行きたい」という学校が出てきたときがチャンスです。

小6 併願計画を立てるのが受験対策の柱

よいと思える学校を複数校見つけておき、しっかりした受験スケジュールを立てることが受験対策の大きな柱となります。第一志望校が複数回の入試を行ってれば、繰り返し受験することで合格の確率が高まります。同じ学校でも、回次によって倍率や難易度が変わるので注意が必要です。

3 入試の種類

●教科型入試

算数

国語

理科

社会

最もオーソドックスな入試形態です。小学校での学習を土台としながらも、より深い理解や反復練習を必要とする問題が出されます。近年は知識偏重の問題から、思考力・表現力を必要とする問題が増えています。答えが1つでない問題について自分の考え方を記述させるなど、暗記に偏った学習だけでは答えにくい問題も出されます。

●公立中高一貫校適性検査／適性検査型入試

適性検査Ⅰ

適性検査Ⅱ

報告書

会話文や図表の読み取りといった形式で出題され、思考力や表現力、課題を解決しようとする力が求められます。公立中高一貫校はいわゆるペーパーテストだけでなく、小学校での報告書・作文・面接などが含まれる学校もあります。自治体や学校によって適性検査の種類はさまざまです。志望校の決定と合わせ、対策を切り替えていきましょう。

●新タイプ入試

英語資格

自己アピール

調べ学習・発表

プログラミング

学校の特色を活かした独特な入試形態をとる学校もあります。必ずしも特化した対策を前提とするものではありませんが、お子さまの適性に合っているのか見極めが大切です。説明会などに実際に参加してみるのがよいでしょう。多様な学校の中から、お子さまに合った環境を選べるのが、中学受験の大きな魅力です。

4 難易度を測る尺度

◎ 倍率

倍率とは、学校の難易度や注目度を表す尺度で、「志願倍率」と「実質倍率」の2種類があります。それぞれの入試特性によってこの2つが大きく乖離する場合があります、注意が必要です。

$$\text{志願倍率} = \frac{\text{志願者数}}{\text{募集人数}}$$

その学校を志望する人数です。受験直前に学校から発表されます。公開模試での志願者を指す場合もあります。

各学校で入学を予定している人数です。秋ごろに学校が公開する入試要項に記載されています。

$$\text{実質倍率} = \frac{\text{受験者数}}{\text{合格者数}}$$

実際にその学校を受験した人数です。別の学校の合格が決まるなどの理由で志願者数より少なくなることがあります。

実際に入学を許可される人数です。入学辞退者などを考慮して募集人数よりも多くの合格者が出ることもあります。

〈例〉

	志願者数	募集人数	志願倍率	受験者数	合格者数	実質倍率
A中学校	320	80	4.0	280	100	2.8

募集人数の4倍の志願者がいた。

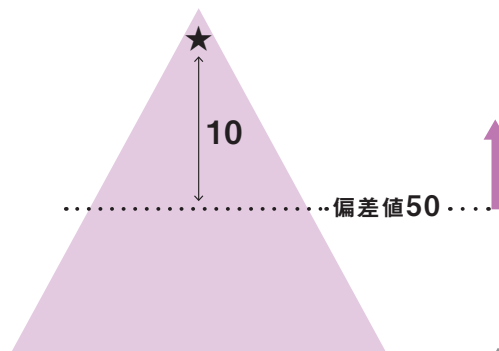
2.8人に一人が合格する。合格率は約35.7%となる。

◎ 偏差値

ある模試の受験者において、志望校の偏りをもとにして算出された数値です。平均を50として、その模試を受験した集団の中で、どの程度の位置にいるかを知ることができます。

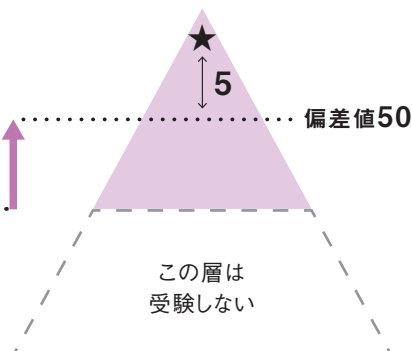
[多くの受験生が受ける模試]

A中学校の偏差値60



[学力が高い層が受ける模試]

A中学校の偏差値55



★……異なる模試で算出されたA中学校の偏差値

「A中学校に行きたい!」という受験者の層は、その模試の平均からどのくらい離れているか?

※その模試を受ける受験者層によって、数値が変わってきます。難易度や注目度を表す尺度にはなりますが、その学校のよさをそのまま表す数値ではありません。

5 中学校の 選び方

受験の方針を
はっきりさせよう

大学入試改革や学習指導要領の改訂、ICT導入など変化の大きい時代で、お子さまを最適な教育環境で学ばせたいと願うご家庭が多く見られます。

「高いレベルの教育を受けて、自ら将来を切りひらく力をつけさせたい」「子どもの性格に合った環境で大きく成長してほしい」など、受験についてご家庭の方針を持って臨みましょう。

中・高・大の教育費は
いつ、どのくらいかかるの？

大学入試改革がよくわからない…
小・中・高でどんな学習が必要なの？

将来に役立つことを
教えてくれるかしら？

大学合格実績は？

中学・高校での
英語教育は
どのようなものかしら？

習い事も
させてあげたい。
塾に通うのは週何日？

◎学校のタイプで選ぶ

学校の特徴をしっかり調べ、お子さまの性格やご家庭の教育方針と照らし合わせて選択しましょう。

私立中 進学校

ほとんどの生徒が6年後に大学入試を受ける学校です。建学の精神に基づき、それぞれの学校のカラーを前面に打ち出した教育が行われています。授業はもちろん、生活指導や行事なども、それぞれの校風を反映しています。教育カリキュラムでも、高校の学習内容を中学で先取りするなど、多くの学校が大学入試を見据えたペースで授業をすすめています。

公立中高一貫校 詳しくはP.08へ

「高校受験の影響を受けずにゆとりある学校生活を送り、一貫したカリキュラムで生徒の個性を伸ばす」ことを設立の目的としています。1都3県では23校が開校しています。私立よりも少ない費用で、個性豊かな教育を受けられることが魅力です。私立中学の一般的な入試と異なり、「適性検査」とよばれる、教科の枠にとらわれない問題が出されます。また、小学校での学習の状況などを報告書として提出する必要があります。

私立中 大学附属校

大学入試の必要がない、私立大学の附属中や系列校も人気です。その背景には私立大学の定員厳格化、大学入試改革に対する不安があると思われます。また、中高大で一貫となった教育を受けられる魅力もあります。大学入試を見据える進学校と比べてキャリア教育やグローバル教育といった多彩なカリキュラムを有することが特徴的です。

国立大学附属校

1都3県に12校ある国立大学附属校は、入学金不要、授業料は公立並みということもあり、根強い人気があります。もともとは大学の実験校として設立された経緯があり、ユニークな学習指導が行われています。文部科学省の指定を受けて学習指導要領改訂を踏まえた新しい取り組みが行われるなど、最先端の教育が受けられます。高校が設置されておらず、高校受験が必要になる学校もあります。

◎大学合格実績で選ぶ

進路選択に合った学校を



1都3県
進学校の大学
合格実績一覧



大学附属校の
内部進学状況

大学合格実績は、その学校の教育方針と学習指導の確かさ、そして生徒の進学志向を測る指標とも言えます。難関大学への合格者数や合格率、学部学科の進学傾向を見ると、お子さまの進路選択に合った学校を選ぶことができます。1都3県の高校の大学合格実績において中高一貫校は多くの合格者を出しています。この要因として、6年

間一貫の教育システムを「先取り学習」「習熟度別授業」などで活かしていること、学校の進路指導が計画的で適切であること、指導体制が確立していることなどが挙げられます。また、大学の先を見通した将来像を生徒自らが描けるような指導をしています。大学合格のみを目的とするのではなく、社会に出てから役立つ力を身につけます。

●進学校 合格実績〈例〉

	東京大	京都大	…	早稲田大	慶應大	…	明治大	青山大	…
A高校	47	15		137	98		113	19	

国公立大は入試日程が重複するため、合格者数は進学者数と大きく差が出ない。

私立大はのべ合格者数を表すため、1人の生徒が合格した大学でも複数の学部を累積した値になっている。その学校が早慶・GMARCHなど、どういった大学への進学に力を注いでいるのかを読み取ることができる。

●大学附属校 内部進学実績〈例〉

	政治経済	法学	…	進学者計	卒業生	進学率
B高校	20	13		150	300	50.0%
C高校	110	78		450	500	95.0%

同じ大学系属の高校でも、ほぼ全員が進学する附属校もあれば、そうでない半附属校もある。他大学への受験が盛ん、成績不振者の足切りなど、内部進学しない理由は学校説明会で確認することができる。

◎ 校風・教育方針などで選ぶ

それぞれの学校には、生徒たちにどのような人間になってほしいのか、
そのためにどのような教育をすすめるかという方針があり、それが校風につながっています。
お子さまにどう成長してほしいかを考え、それにふさわしい校風や教育方針の学校を選択しましょう。

校風

創立以来、脈々と受け継がれている学校のカラーが校風です。「質実剛健」「自主性を重んじる」「博愛」などの建学の精神が柱となり、生徒の特性や地域性なども含め独特の雰囲気となってあらわれているといえるでしょう。

施設設備

お子さまが6年間を過ごす環境が安全で安心できるものであるかは重要なことです。掃除が行き届いているか、防災や防犯の備えがきちんとなされているかを確認しましょう。また、図書館や運動施設などが充実しているのかも注目ポイントです。

学習指導

それぞれの学校が特色あるカリキュラムを作成し、6年間の一貫教育のメリットを活かした指導をしています。「習熟度別学習」「先取り学習」などのほか、特別講義や補講を取り入れているところもあります。

部活動

中高6年間の生活では、学業以外の何かに打ち込むことも大切です。お子さまのチャレンジしたいスポーツや文化活動は、主に部活動で実現できます。その学校に希望する部活動があるか、どのような活躍しているかなども、事前におさえておきましょう。

教育方針

「国際化に対応できる人材を育成する」「思考力と創造力を伸ばす」といった、教育の基盤となる考え方がそれぞれの学校にあります。それを実現するために最適なカリキュラムが組まれているのです。

生活指導その他

生活指導については、自主性を尊重する学校や、面倒見がよい学校など、それぞれに特色があります。男子校・女子校・共学校のいずれか、宗教的な教育があるかなどによっても異なります。ボランティア活動を重視する学校もあります。

◎ 学校外との連携による学び

大学や企業との連携も学校選びのポイントになります。直接的な附属校・系属校ではなくても、教育理念や方針の一致などを理由に大学との提携関係が築かれるケースが増えてきました。本格的かつ最先端の技術や研究テーマとの出会いとしては、企業との提携も進んでいます。教科・科目という枠を超えた学びは、お子さまが将来の方向性を絞り込んでいく際には大きな意味を持ちます。

◆連携による活動の例

- 1 大学の授業科目・公開講座への受講生の受入れ
- 2 大学教員による中学・高校への出張講義
- 3 教育及び研究についての情報交換及び交流
- 4 指定する学部への入学（推薦枠の設定）
- 5 中学・高等学校における教育実習生の受け入れ
- 6 「探究活動」等における教職員及び学生と生徒の交流

◆高大連携協定を締結している学校の例

北里大学	桜美林・カリタス女子・鎌倉学園・関東学院六浦・公文国際学園・相模女子大学・順天・湘南学園・湘南白百合・清泉女学院・捜真女学校・田園調布学園・東京純心女子・東京女学館・藤嶺藤沢・山脇学園・横浜雙葉
国際基督教大学	佼成学園・三田国際学園
芝浦工業大学	埼玉栄・栄東・山脇学園
順天堂大学	神田女学園・北豊島・吉祥女子・恵泉女学園・佐久長聖・芝国際・湘南白百合・城北・昭和女子大学附属昭和・宝仙学園・八千代松陰
電気通信大学	工学院大学附属・渋谷教育学園渋谷・渋谷教育学園幕張・東京純心女子・桐朋女子・豊島岡女子学園・都立三鷹高附属
東京医科大学	巣鴨
東京薬科大学	桜美林・大妻多摩・神奈川学園・工学院大学附属・十文字・城北埼玉・東京純心女子・八王子学園八王子・明星
東京理科大学	かえつ有明・富士見・普連土学園・横浜富士見丘
日本医科大学	洗足学園・早稲田実業学校

6 公立中高一貫校について

公立中高一貫校では報告書(学校の成績等)、適性検査、作文、面接などを実施し、総合的に合格者を決定します。論理的思考力や課題に対して解決できる力を問われ、教科の枠にとられない検査が行われます。入学後は「総合的な学習(探究)」という、生徒自らが問いを立て、それを解決する学習が行われます。

埼玉

県立伊奈学園中・市立浦和中・市立大宮国際中等・川口市立高附属中

埼玉県の私立中学校と同じく1月中に適性検査が行われ、それぞれ1次・2次の2段階での選抜になります。いずれの学校とも1次は2種類の適性検査ですが、2次の選抜方法が異なり、県立伊奈学園は個人面接、市立浦和は適性検査に加えて個人面接と集団面接、市立大宮国際は適性検査と集団活動(面接)、川口市立高附は適性検査と集団面接が行われます。さいたま市立の2校(浦和・大宮国際)は1次検査の検査日が異なるため、多くの受験生が併願します。

千葉

県立千葉中・県立東葛飾中・市立稲毛国際中等

他都県よりも早い12月上旬に1次検査があり、私立中学校の入試と同じ1月20日以降に2次が行われます。受験が早い分、公立中高一貫校の対策にかけられる時間は短く、小6の夏までに基礎力をしっかりと身につけておく必要があります。茨城の私立中学校との併願を行う受験生もいます。

東京

都立小石川中等・都立白鷗高附属中・都立両国高附属中・都立桜修館中等・都立富士高附属中・都立大泉高附属中・都立南多摩中等・都立立川国際中等・都立武蔵高附属中・都立三鷹中等・区立九段中等

一般枠の適性検査はすべて2月3日に行われます。都立中高一貫校は共通の適性検査問題を作成していますが、どの学校も部分的に独自問題を出します。適性検査・報告書の点数比率が公表されており、こちらも学校によってさまざまです。唯一の区立中である九段では、千代田区内に居住する受験生と区外の受験生で異なる募集枠が設置されています。募集定員は同一のため、学区外は厳しい受験となっています。

神奈川

県立相模原中等・県立平塚中等・市立川崎高附属中・市立南高附属中・市立横浜サイエンスフロンティア高附属中

適性検査は東京と同じく2月3日に実施されます。神奈川県立・市立の5校では男女枠のない募集が行われ、総合成績上位者から順に合格が決まります。市立横浜サイエンスフロンティア高附属は文科省スーパーサイエンスハイスクールに指定されており、理数科教育のための充実した環境が整えられています。

◆公立中高一貫校の入学者選抜

適性検査(理系)	教科横断型の形式で、知識の暗記では対応できない、思考力を必要とする問題が多い。資料の読み取りなど、私立中入試とは異なる対策が必要。
適性検査(文系)	与えられた文章やテーマをもとに、自分の考えをまとめる課題が出される。二つの文章から共通するテーマを読み取るなど、高度な思考力を必要とする問題が出される。
面接	面接やグループ活動などさまざまな形式で実施される。答えのない問いに対し、どのような知恵を出すのか、受験生の課題解決能力や表現力がみられる。
報告書	小学校5年生～6年生での評定や、活動内容が評価される。適性検査と報告書の点数の配点は、学校ごとに定められている。

◆公立中高一貫校受験者の併願先として多い私立中の例

千葉県	千葉明德	土浦日本大学
	昭和学院	江戸川学園取手
埼玉県	浦和実業学園	聖望学園
	開智未来	細田学園
	西武学園文理	武南
東京都	佼成学園女子	安田学園
	宝仙学園共学部理数インター	品川翔英
	八王子学園八王子	日本工業大駒場
	聖徳学園	東京家政学院
	中村	駒込
神奈川県	桜美林	トキワ松学園
	横浜翠陵	日本大学
	相模女子大学	鶴見大学附属
	横須賀学院	自修館

7 1都3県の入試



学校所在地
マップ

千葉・埼玉・東京・神奈川の1都3県では、入試日程が異なります。
志望校の受験の日程を踏まえ、適切な準備を進めていきましょう。

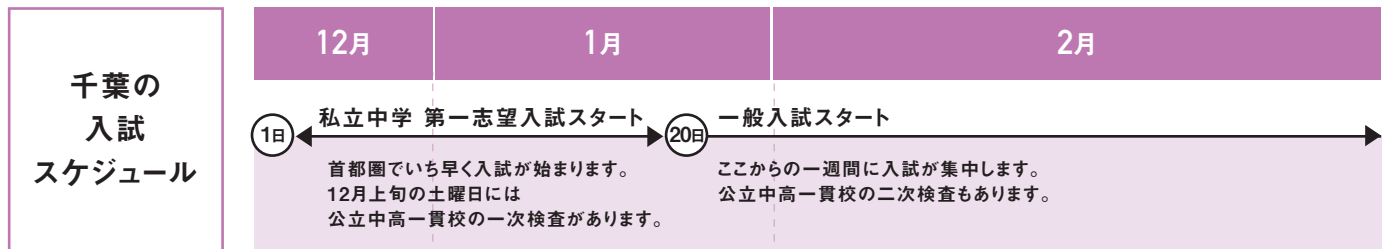
🔍 千葉

入試の開始

12月の第一志望入試や公立中高一貫校の一次検査が入試のスタートとなります。千葉県の入試は、1月20日～22日にピークを迎えます。1月26日・27日や2月以降に入試回を設定している学校もあります。受験の開始が早い分、早くから過去問対策が必要です。また、1月10日は事前準備校として埼玉の学校、1月20日に本命の千葉の学校、そして2月1日には東京で志望に合う学校を受験したり、難関校にチャレンジしたりといった併願パターンを組むことができます。

今後の注目

流通経済大学付属柏が新校として注目を集めています。また、芝浦工業大学柏のGSクラス枠の廃止、麗澤のAEコース定員増加など、各校で内部充実が図られています。3～4年生のうちから体育祭や文化祭といった学校行事にお子さまとともに参加して、「この学校ならぜひ通いたい」「ぜひ通わせたい」と思えるような学校を1つでも多く見つけておくことが望ましいでしょう。



偏差値別 千葉県の私立校・国立校・公立中高一貫校

偏差値(男子)

65以上	● 県立千葉 ● 市川 ● 渋谷教育学園幕張
60～64	● 県立東葛飾 ● 東邦大東邦
55～59	● 千葉市立福毛国際 ● 昭和学院秀英
50～54	● 千葉大学附属 ● 芝浦工業大学柏 ● 専大松戸
45～49	● 光英VERITAS ● 成田高校付 ● 麗澤
40～44	● 日出学園 ● 昭和学院 ● 千葉日大一 ● 東海大浦安
35～39	● 二松学舎柏 ● 八千代松陰

偏差値(女子)

65以上	● 県立千葉 ● 市川 ● 渋谷教育学園幕張
60～64	● 県立東葛飾 ● 昭和学院秀英 ● 東邦大東邦
55～59	● 千葉市立福毛国際 ● 芝浦工業大学柏 ● 専大松戸
50～54	● 千葉大学附属 ● 国府台女子学院
45～49	● 光英VERITAS ● 昭和学院 ● 成田高校付 ● 麗澤
40～44	● 日出学園 ● 千葉日大一 ● 東海大浦安 ● 和洋国府台女子
35～39	● 二松学舎柏 ● 八千代松陰

四谷大塚偏差値・第1回入試での数値で分類。●は国立校・公立中高一貫校 ●は私立校



学校所在地
マップ

🔍 埼玉

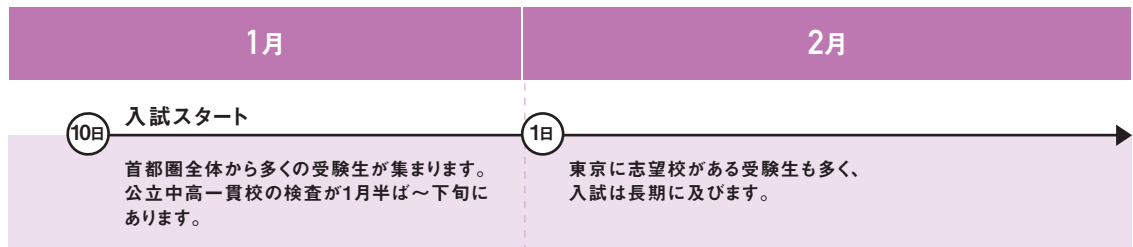
入試の開始

埼玉県の入試は、1月10日に始まります。私立中学校の入試日は、1月10日からの1週間に多く、1月半ばには公立中高一貫校の適性検査が始まります。一部の学校では、1月23日以降や2月4日以降の複数回入試を設定しています。2月1日開始の東京都の学校を併願すると、1か月近くにわたる長期戦となります。埼玉県の入試では、東京や神奈川・千葉の受験生が合格確保や力試しのために受験に来るため、地元の受験生であっても合格が難しい学校もあります。

今後の注目

各校が魅力ある指導・校風などの特色を打ち出していることもあり、地元で通いやすい学校を第一志望とする受験生が増えています。伝統校はもちろん、大宮開成・昌平・開智未来などの大学進学実績が伸びている学校が注目され、人気が出ています。淑徳与野では医進コース特別枠が新設され、注目されています。また、開智所沢中等教育学校の開校が話題です。

埼玉の 入試 スケジュール



偏差値別 埼玉県の私立校・国立校・公立中高一貫校

偏差値(男子)	
65以上	●栄東(東大特待)
60~64	●開智(特待A)
55~59	●さいたま市立浦和 ●さいたま市立大宮国際 ●栄東 ●開智 ●立教新座
50~54	●県立伊奈学園 ●川口市立高附属 ●青山学院系属浦和ルーテル ●大宮開成
45~49	●開智未来
40~44	●浦和実業 ●埼玉栄 ●城西川越 ●昌平 ●城北埼玉 ●西武文理 ●獨協埼玉 ●星野学園 ●細田学園
35~39	●春日部共栄 ●武南

偏差値(女子)	
65以上	●浦和明の星女子 ●栄東(東大特待)
60~64	●さいたま市立浦和 ●開智(特待A) ●栄東
55~59	●さいたま市立大宮国際 ●川口市立高附属 ●大宮開成 ●開智 ●淑徳与野
50~54	●県立伊奈学園 ●青山学院系属浦和ルーテル
45~49	●開智未来 ●埼玉栄
40~44	●浦和実業 ●春日部共栄 ●昌平 ●西武文理 ●獨協埼玉 ●星野学園 ●細田学園
35~39	●大妻嵐山 ●武南

四谷大塚偏差値・第1回入試での数値で分類。●は国立校・公立中高一貫校 ●は私立校



学校所在地
マップ

東京

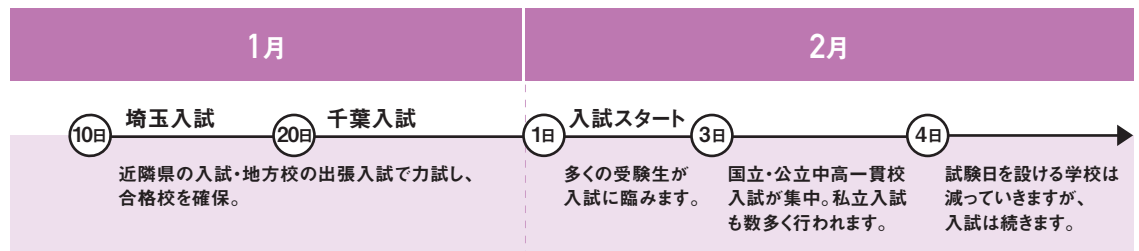
入試の開始

東京都の入試は、2月1日から始まります。1日～3日に「午後入試」を組み込む併願が定番となり、この3日間で進学先を決める受験生が増えてきています。国立校・公立中高一貫校の適性検査は3日に実施されます(特別枠などを除く)。4日以降は各校の2回目や3回目の入試になります。

今後の注目

三輪田学園が法政大学と、また日本学園が明治大学と連携するなど、大学との連携を行う学校が増えており、注目を集めています。学校数が多く、近隣県との併願もしやすいため、学校選択の幅は広いです。情報収集を早めに行っていくことが大切です。

東京の入試スケジュール



偏差値別 東京都の私立校・国立校・公立中高一貫校

偏差値(男子)

65以上	●筑波大学附属 ●筑波大附駒場 ●都立小石川 ●麻布 ●開成 ●駒場東邦 ●渋谷教育学園渋谷 ●武蔵 ●早稲田 ●早稲田大学高等学院
60~64	●学芸大附世田谷 ●都立桜修館 ●都立大泉高附 ●都立武蔵高附 ●都立両国高附 ●海城 ●慶應義塾中等部 ●芝 ●本郷 ●広尾学園 ●明治大明治 ●早稲田実業
55~59	●学芸大附竹早 ●区立九段 ●都立立川国際 ●都立白鷺高附 ●都立富士高附 ●都立三鷹 ●都立南多摩 ●青山学院 ●学習院 ●攻玉社 ●城北 ●巣鴨 ●世田谷学園 ●中央大学附属 ●桐朋 ●東京農大一 ●東京都市大付 ●広尾学園小石川 ●法政大学 ●明大中野 ●立教池袋
50~54	●お茶の水女子大附属 ●東京大学附属 ●学芸大附小金井 ●開智日本橋 ●暁星 ●國學院久我山 ●芝浦工大附 ●青稜 ●成蹊 ●成城 ●成城学園 ●高輪 ●帝京大学 ●東京都市大等々力 ●日本学園 ●三田国際 ●明大八王子
45~49	●淑徳 ●創価 ●東洋大学京北 ●ドルトン東京学園 ●日大第二 ●日大豊山 ●明治学院
40~44	●郁文館 ●穎明館 ●桜美林 ●かえつ有明 ●佼成学園 ●駒込 ●淑徳巣鴨 ●順天 ●東海大高輪台 ●東京電機大学 ●獨協 ●日大第一 ●宝仙学園 ●武蔵野大学 ●目黒日大 ●安田学園
35~39	●足立学園 ●京華 ●啓明学園 ●工学院大附 ●桜丘 ●サレジオン国際世田谷 ●実践学園 ●聖学院 ●多摩大聖ヶ丘 ●多摩大目黒 ●日大第三 ●文化学園大学杉並 ●文教大付 ●八雲学園

偏差値(女子)

65以上	●筑波大学附属 ●都立小石川 ●都立武蔵高附 ●青山学院 ●桜蔭 ●渋谷教育学園渋谷 ●女子学院 ●雙葉 ●早稲田実業 ●豊島岡女子学園 ●慶應義塾中等部
60~64	●お茶の水女子大附 ●学芸大附世田谷 ●区立九段 ●都立桜修館 ●都立大泉高附 ●都立白鷺高附 ●都立南多摩 ●都立両国高附 ●鷗友学園 ●吉祥女子 ●頌栄女子学院 ●百合学園 ●中央大学附属 ●東京農大一 ●広尾学園 ●東洋英和 ●明治大明治 ●立教女学院
55~59	●学芸大附竹早 ●都立立川国際 ●都立富士高附 ●都立三鷹 ●開智日本橋 ●学習院女子 ●香蘭女学校 ●芝浦工大附 ●成蹊 ●広尾学園小石川 ●法政大学 ●三田国際
50~54	●東京大学附属 ●学芸大附小金井 ●大妻 ●共立女子 ●恵泉女学園 ●晃華学園 ●品川女子学院 ●成城学園 ●帝京大学 ●青稜 ●田園調布学園 ●東京女学院 ●都市大等々力 ●明大八王子 ●山脇学園
45~49	●穎明館 ●大妻中野 ●かえつ有明 ●國學院久我山 ●淑徳 ●順天 ●昭和女子大附属 ●創価 ●東洋大学京北 ●ドルトン東京学園 ●日大第二 ●富士見 ●普連土 ●明治学院 ●目黒日大
40~44	●跡見学園 ●郁文館 ●江戸川女子 ●桜美林 ●大妻多摩 ●光塩女子学院 ●桜丘 ●サレジオン国際世田谷 ●十文字 ●女子聖学院 ●女子美術大学付属 ●東京電機大学 ●日大第一 ●三輪田学園 ●安田学園
35~39	●神田女学園 ●工学院大附 ●麹町学園女子 ●駒込 ●実践女子学園 ●淑徳巣鴨 ●多摩大聖ヶ丘 ●東海大高輪台 ●東京純心 ●日大第三 ●日大豊山女子 ●文化学園大学杉並 ●文教大付 ●宝仙学園 ●武蔵野大学 ●八雲学園 ●和洋九段女子

四谷大塚偏差値・第1回入試での数値で分類。●は国立校・公立中高一貫校 ●は私立校



学校所在地
マップ

神奈川

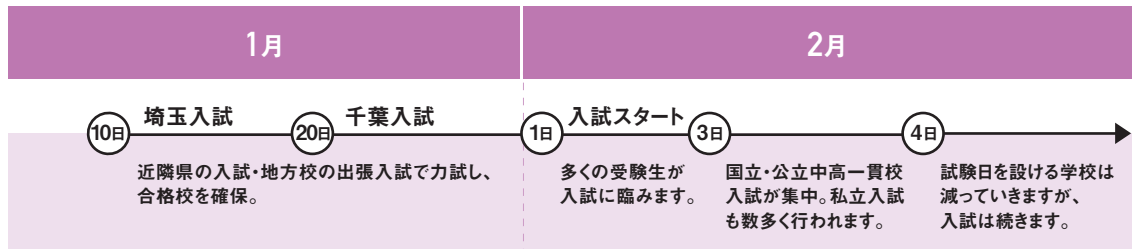
入試の開始

神奈川県の入試は、東京都と同じく私立校は2月1日から始まり、2月3日に国立校・公立中高一貫校の適性検査が実施されます。神奈川県を受験生は、東京へのアクセスが便利なので都内の学校を併願する受験生が少なくありません。

今後の注目

横浜雙葉や鎌倉女学院が入試日程の変更を行い、周辺の学校にも影響が出ると思われます。青山学院横浜英和や中央大学横浜、法政大学、神奈川大学付属など大学附属校が人気です。また、横浜創英や湘南白百合など、積極的に学校改革を行っている学校も注目を集めています。

神奈川の入試スケジュール



偏差値別 神奈川県の私立校・国立校・公立中高一貫校

偏差値(男子)	偏差値(女子)
65以上	65以上
●栄光学園 ●慶應義塾湘南藤沢 ●聖光学院	●市立横浜サイエンスフロンティア高附 ●慶應義塾湘南藤沢 ●洗足学園
60~64	60~64
●市立横浜サイエンスフロンティア高附 ●神奈川県立相模原 ●横浜市立南高附 ●浅野 ●慶應義塾普通部 ●サレジオ学院	●神奈川県立相模原 ●横浜市立南高附 ●フェリス女学院
55~59	55~59
●県立平塚 ●川崎市立川崎高附 ●青山学院横浜英和 ●神奈川大学附属 ●逗子開成 ●中央大学附属横浜 ●法政大学第二	●県立平塚 ●川崎市立川崎高附 ●青山学院横浜英和 ●神奈川大学附属 ●中央大学附属横浜 ●法政大学第二 ●横浜共立学園 ●横浜雙葉
50~54	50~54
●横浜国大附横浜 ●鎌倉学園 ●公文国際学園 ●山手学院	●横浜国大附横浜 ●公文国際学園 ●湘南白百合学園 ●桐蔭学園 ●日本女子大学附属 ●森村学園 ●山手学院
45~49	45~49
●湘南学園 ●桐蔭学園 ●桐光学園 ●日本大学 ●日大藤沢 ●森村学園	●鎌倉女学院 ●清泉女学院 ●日本大学 ●日大藤沢 ●湘南学園
40~44	40~44
●横浜国大鎌倉 ●関東学院 ●自修館 ●東海大学付属相模 ●藤嶺学園藤沢 ●横浜創英	●横浜国大鎌倉 ●カリタス女子 ●関東学院 ●自修館 ●東海大学付属相模 ●桐光学園 ●横浜女学院 ●横浜創英
35~39	35~39
●鶴見大学附属	●神奈川学園 ●聖国女学院 ●鎌倉女子大学 ●聖セシリア女子 ●捜真女学校 ●鶴見大学附属

四谷大塚偏差値・第1回入試での数値で分類。●は国立校・公立中高一貫校 ●は私立校

8 学校を見に行こう!



首都圏学校情報検索サイト「School-pot」。中学校からの配信動画、学校説明会などさまざまな学校情報を掲載しています。

学校現地で実施する説明会や、一般公開される文化祭が増えてきています。また、インターネットやSNSを介した新しい情報公開の方法が広がりつつあります。

学校説明会

学校の教育理念や指導内容、今後の展望を説明してもらえます。オンラインでの動画公開やライブ配信で説明会を実施する学校が増えており、質問がしやすくなる、多くの学校の説明を受けられるなどさまざまなメリットがあります。一方で、生徒の様子や学校の雰囲気など実際に足を運んでみて初めてわかることもあります。学校を見学する機会について情報収集することが大切です。

合同説明会

複数校が合同で開く説明会です。公共施設や大型ホールなどで開かれます。地区限定、女子校限定などのカテゴリーで開かれるので、似た傾向の複数の学校を一度に知ることができるよい機会です。会場には学校ごとにブースが設けられ、担当の先生が待機しています。合同説明会で興味を持った学校には、積極的に行事の見学や説明会への参加をしましょう。

オープンスクール・授業見学

オープンスクールは、主に小学6年生が対象で、中学生活への興味と理解を深めるために実施されます。授業見学は、ありのままの授業の様子を参観できますが、授業がある平日に開催されることが多く、対象は受験生の保護者がメインになります。学校見学は、日時指定のものや随時のものがあります。施設だけでなく、授業内容や生徒の様子などを細かくチェックすることも大切です。

文化祭・体育祭

文化祭や体育祭は、生徒が主体となって準備・運営する行事です。在校生のありのままの姿を見たり言葉を聞いたりすることは、お子さまにとって大きなモチベーションになるでしょう。この分野でも新しい形の情報公開を行う学校が増えています。在校生が校内の様子をオンラインで案内したり、在校生が主体となって学校のことを紹介したりするイベントも行われています。

\ CHECK! /

学校説明会でのチェックポイント

受付

説明会の資料や学校案内が配付されます。在校生が受付に立っていることもあるので、学校について話を聞いてみるのもよいでしょう。学校の雰囲気がわかるよう工夫されています。

学校生活紹介

映像による学校紹介が主流です。内容は、授業や学校行事、部活動を紹介したもので、学校生活の様子を知ることができます。

沿革・教育方針の話

校長先生が担当する学校が多いようです。私学は独自の建学の精神に基づいて運営しているので、学校の特色を知ることができます。

カリキュラムの説明

授業内容や時限数、力を注いでいる科目の説明などがあります。私学は、各学校独自のカリキュラムによる教育をしています。

大学合格(進学)実績の報告

大学合格実績について、具体的なデータに基づいての説明があります。大学附属校では、内部進学や推薦入学の基準についても説明されます。

入試要項の説明

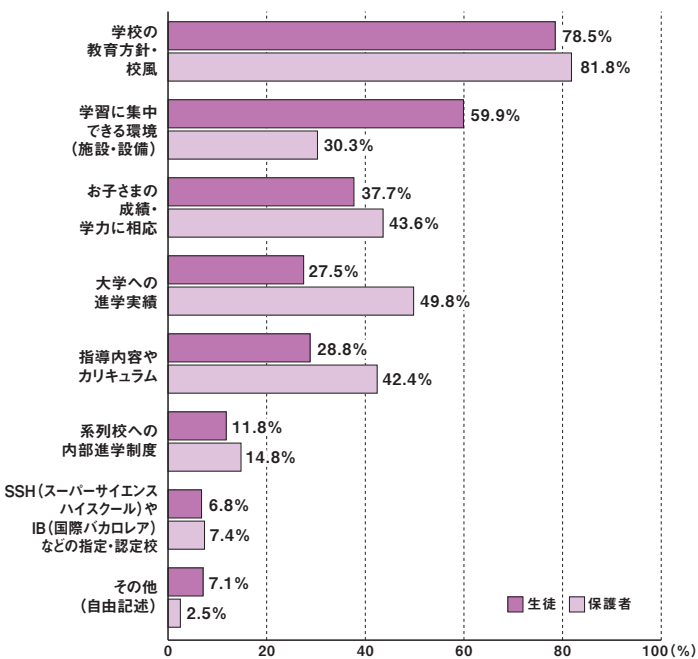
書類提出の締切日や募集人数、入試科目など、入試についての話があります。複数回入試や出題傾向などの情報を入手できる場合もあります。

9 先輩たちの声

合格を勝ち取った先輩たちは、どのような受験生活を送ったのでしょうか。
また、保護者の方はどのようなところに気を配っていたのでしょうか。
合格体験記のアンケートによる受験生と保護者の方の生の声をご覧ください。

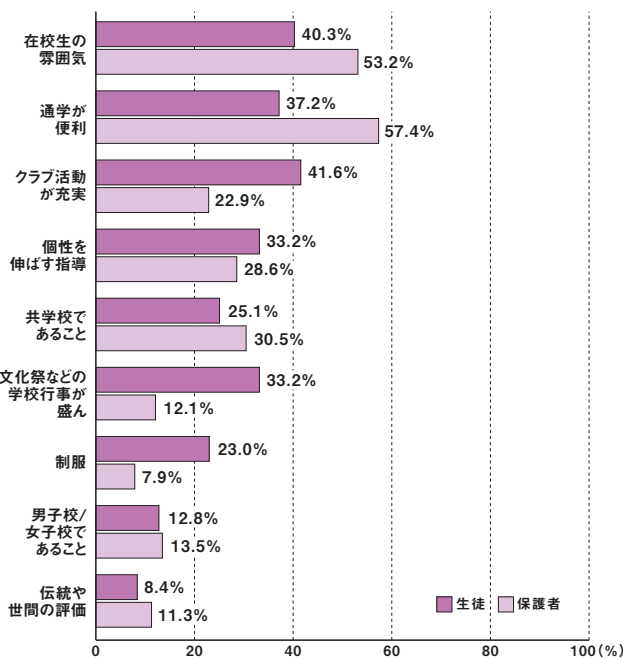
生徒 保護者

志望校・受験(受検)校を選ぶうえで、
学習面で重視した点を教えてください。(3つまで)



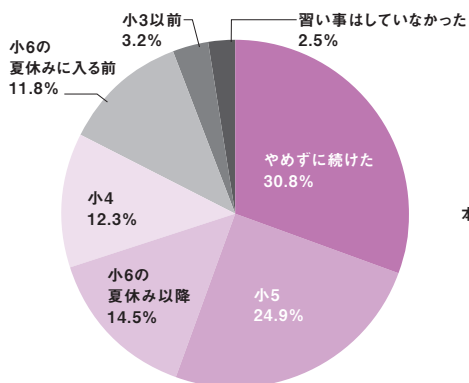
生徒 保護者

志望校・受験(受検)校を選ぶうえで、
学習面以外で重視した点を教えてください。(3つまで)



保護者

習い事やクラブは
いつごろまで続けさせましたか？



習い事を続けながら
入試を乗り越えたご家庭もあります。
学習への取り組みとの両立に向けて
しっかりと行動することが重要です。

保護者

ご家庭にとって受験(受検)とは、
どのようなものであったと思いますか？(3つまで)

